

北海道における今冬の電力安定 供給確保に関する緊急要望

平成24年9月25日

北海道経済連合会

北海道商工会議所連合会

北海道経営者協会

北海道経済同友会

北海道における今冬の電力の安定供給確保に関する緊急要望

我々北海道経済界は、今夏の厳しい電力事情を踏まえた7%以上という節電目標達成に向けての取り組みを真摯に進めるとともに、生産活動やサービスの低下を極力回避する手立てを講じるなど、でき得る限りの対応を行ってきた。一方で、このような事態が展望のないまま継続し、不安定な電力需給状況の長期化や燃料費の増大による電気料金値上げへの懸念などから経済産業活動が停滞するほか、企業誘致活動への支障となるなど、地域全体が疲弊していくことを強く憂慮している。

北海道においては、寒さの厳しい冬期に電力需要のピークを迎えるが、厳寒・凍結・積雪等の厳しい気象条件や一日を通じて電力の使用量が高いレベルで推移するといった特徴から、夏期同様の節電対応を実施することは非常に困難である。

今冬の電力需給見通しについては、供給力確保に向けて老朽化が進んでいる火力発電所の稼働の増加や発電所の定期検査の繰り延べなどを継続するとともに、緊急設置電源の追加など、応急かつ緊急的な取り組みがすすめられているものの、火力発電所の計画外停止や北本連系設備のトラブル発生のおそれなどを考えると、非常に厳しいことが北海道電力より示されている。

冬期間に過度な節電要請や計画停電が実施された場合、生産・物流の停滞、サービスの低下や観光への悪影響など経済産業活動が大きなダメージを受けるのみならず、暖房機器・凍結防止装置・融雪設備等の運転停止による人的・物的被害や交通への支障、医療・福祉現場の混乱など、積雪厳寒地特有の重大な事故の発生も懸念され、冬期間の電力不足への不安が道民に大きく広がっている。

こういった状況に鑑みると、今冬の電力安定供給確保のためには、泊発電所の運転再開が必要不可欠な状況であることは明らかである。

このため、政府および北海道に対し、下記についての早急な対応を行うよう、北海道内経済4団体の総意として強く要望する。

記

1. 過度な節電要請や計画停電の回避に向け、電力安定供給の確保に万全を期すこと
2. 今冬の北海道における電力の安定供給確保のため、停止中の泊発電所の安全性評価を早急に進め、安全性確保を前提に泊発電所を早期に再稼働すること

以上

平成24年9月25日

北海道知事 高橋 はるみ 様

北海道経済連合会 会長 近藤 龍夫 印

北海道商工会議所連合会 会頭 高向 巖 印

北海道経営者協会 会長 前泉 洋三 印

北海道経済同友会 代表幹事 坂本 眞一 印